

## 令和5年度 学校関係者評価書

学校名	北海道 浜頓別 高等学校	校長名	三井 智和	実施日	令和5年2月22日
-----	--------------	-----	-------	-----	-----------

### 1 学校教育目標

校訓「厚情」「自律」「愛郷」のもと (1) 多様な価値観を認め、物事の本質を見極める力を養う (2) 困難を克服して自己実現を図ろうとする強い心を養う (3) 協働してよりよい社会や新たな価値観をつくる力を養う
--

### 2 スクールミッション

(1) 柔軟に対応する創造性を有し、主体的に課題解決に活用することができる生徒の育成 (2) 集団生活や特別活動等を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身に付けた生徒の育成 (3) 自分の生き方・在り方を深く考え、本校の社会的役割を認識しながら地域の未来を担うことのできる生徒の育成 (4) 多様な価値観を認め、互いの良さを伸ばし合うことのできる生徒の育成
--

### 3 自己評価結果に対する学校関係者評価

#### 【教育活動】

項目	今年度の目標	自己評価のための観点	達成状況	評価	自己評価の結果	改善の方策	
【学習指導】 生徒個々の各レベルの 掌握と向上	生徒の学習意欲を高め、学ぶ楽しさを感じさせる授業の実践	授業改善により、生徒の学習意欲を高め自主的に学ぶ姿勢を身につけさせられたか。	3	B	○ 授業改善や生徒理解について、更なる力量形成が必要。 ○ 観点別学習状況の評価について、適切に運用されているとともに、教員間の共通理解が得られている。 ○ 学力差が大きい生徒への対応について、検討及び実施が必要。	○ 新しい評価基準に係る研修を更に重ね、生徒の学習意欲向上に繋がる評価の在り方について理解を深めていく。 ○ 学力が高い生徒層への手立てとして、現状よりも高い目標設定をもたせ、高い学力を身に付けさせていく。	
	生徒個々の状況に対応した学力の伸長	生徒の学力・学習状況を的確に把握し、教員全体で共有することにより、個に応じた指導を充実させられたか。	3	B			
	適切な看取りと指導の改善との一体化を図る評価の推進	評価に係る力量を高めることにより、生徒の状況に応じた適切な指導と評価を一体化して行えたか。	3	B			
評価者の意見等	生徒の学力向上のため、スタディサプリ等、ICTの一層の効果的な活用及び教員の一層の授業改善を期待する。					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
						A	B
【生徒指導】 規範意識を持ち、他者を認める心の育成 生徒指導・教育相談の充実	生徒の自己肯定感を高める支援の充実	臨場指導の徹底により、規範意識や他者を認める意識を高め、安全で安心して学べる環境が保たれたか。	3	B	○ 生徒会行事の評価と具体性を持った改善を実施できた。(アンケートの活用、返し) ○ 保護者との情報共有やいじめの未然防止に係る取組の周知に対する指摘がある。	○ 臨場指導を徹底するとともに、指導の一貫性、統一性を図る。 ○ 保護者との「顔が見える」ような関係を構築するため、日常的に情報共有を徹底していく。	
	生徒の主体性を育む特別活動の充実	学校行事の企画・運営や部局活動への主体的な参加により、社会性や自己有用感を高められたか。	3	B			
	他者を認める心と協調性を育む指導の充実	生徒の状況把握と情報共有により、生徒理解を深め、問題行動やいじめの未然防止に努められたか。	3	B			
評価者の意見等	行事等の振り返りとして、生徒の声を聞くために、アンケートをとることはよい取組である。アンケート結果を今後の改善に生かしてほしい。					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
						B	B
【進路指導】 進路実現を目指し、切磋琢磨して自ら切り拓く能力の育成 「出口に強い浜高」	小規模校の利点を活かしたきめ細やかな指導の充実	適切な進路情報の提供や面談等の実施により、進路に対する意識を高め、実現に向けて積極的に取り組ませられたか。	3	B	○ 例年どおり高い進路決定率を維持している。 ○ 進路実現のための学力を高めるための効果的な指導はできているものの、進路希望に相応する学力が不足している生徒への指導が課題となっている。	○ 生徒の、家庭学習を含む自主的な「学びの習慣」を意識的に定着させ、主体的な学びの力をつけ、その上で伸長に繋がる指導を加えていく。 ○ 生徒へ進路先に係る情報提供及びキャリア教育の一層の推進を図っていく。	
	探究活動に基づくキャリア教育の充実	地域と連携した教育活動の効果的な実施により、社会人・職業人としての意識を高められたか。	3	B			
	多様な進路希望の実現に向けた組織的・系統的な指導の充実	進路指導の目的や計画の共有により、進路実現のための学力を高めるための効果的な実践が行われたか。	3	B			
評価者の意見等	本校の進路実績等を中学校にわかりやすく周知することが必要である。					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
						A	B

【健康安全指導】 心身の健康増進の意識の高揚	自他の生命を尊重し、安全・安心な地域社会をつくる力を育む指導の充実	防災や防犯、交通安全に係る教育の適切な実施により、生徒が自他の安全に配慮した判断力や行動力を高められたか。	3	B	○ 健康意識・安全意識については、一定の成果を残した。 ○ 今年度より実施した教科担任会議を含め、生徒情報の共有が十分図られている。 ○ 社会情勢の変化に伴う新たな危機が想定されるので、危機管理マニュアルの精査と改訂が必要である。	○ 生徒の情報を共有し、職員全体で指導・支援できる体制づくりを進める。 ○ 危機管理マニュアルの見直しと改訂を進めていく。 ○ 教科の指導と生徒指導の一体化を一層進めていく。	
	望ましい生活習慣の確立を目指す健康指導・相談体制の充実	保健室との適切な連携により、生徒自らが心身の健康の保持増進を図れるよう情報提供や啓発がなされたか。	3	B			
	危機管理マニュアルを適切に活用できる、危機管理体制の確立	研修や訓練の実施により、教職員が生徒の安全確保に向けた組織的で迅速な対応力を高められたか。	3	B			
評価者の意見等	今後も生徒の憲幸・安全について、十分、目を配ってほしい。					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
						B	B

【学校運営】

項目	今年度の目標	目標達成のための方策と評価の観点	達成状況	評価	自己評価の結果	改善の方策	
【地域で頼られる学校づくり】 地域社会から支持される学校づくり 安全・安心な学校づくり	学校だよりや報道記事、ホームページを活用した積極的な情報発信	一覧性や即時性などのメディアの特性に応じた情報提供により、適切に情報を発信し、地域の声に耳を傾けられたか。	3	B	○ 中高連携の推進に係り学力向上や学ぶ姿勢の育成など、義務教育から高校への接続に必要な事項の共通理解が必要である。 ○ 情報発信は工夫しながら行う事ができた。	○ 生徒の学びの連続性を意識する上で、中学校や小学校での学びを知ることは重要である。他校種の授業参観や交流を効果的に進める。 ○ PTA活動の一層の充実を進めていく。	
	相互訪問や授業交流の実施による中高連携の推進	授業交流や懇話会の実施により、中高が連携して生徒の実態を把握し、指導の改善につなげられたか。	2.5	C			
	保護者や地域との連携の推進	保護者との積極的な情報交換や、地域と連携した活動の実施により、理解や協力を得ながら教育活動を進められたか。	3	B			
評価者の意見等	小学校、中学校、高等学校との連携は大切なことである。一貫した取組があってもよい。					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
						B	B
【組織運営】 学校課題を共有し、課題解決に向けた協働体制の確立	勤務時間を意識した働き方の推進	先見性、計画性をもった校務運営や ICT を活用した効率化、部活動休養日の実施により、時間外勤務を縮減できたか。	3	B	○ 最終退勤時間を設定し、時間を意識した業務遂行に努めた（前年比月平均、15時間の勤務時間縮減） ○ 部活動休養日の設定・実施は進んでいる。	○ 内部的な業務整理を引き続き進める。 ○ 業務の専業・分業を見直す。	
	学校評価の活用	計画に基づく実施と速やかな評価の実施により、実効性のある改善と引継を行えたか。	3	B			
	情報の共有化と連携による組織の機動性の向上	報告・連絡・相談の質を高めることにより、教職員の建設的で活発な意見交換が行われ、経営参画意識を高められたか。	3	B			
評価者の意見等	本校の働き方改革は十分に進んでいる。その取組等を生徒に伝えることも大切である。					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
						B	B
【教職員の資質向上】 校内及び校外での研修体制の促進	学習指導や生徒理解に係る力量形成のための研修の充実	教員相互の助言や校内研修の充実、校外研修の参加により、指導力の向上に努められたか。	3	B	○ 今年度は、「校内・地域連携研修」を活用し、評価等に係る大学教授の講演会及び授業改善を目的に、本校教員を先進校への視察を行い、教員の力量形成に努めることができた。	○ 外部研修の成果を交流する校内研修の実施や、研修資料の職員回覧などを実施して、個人の研修内容を共有して、全体の資質向上への材料とする。	
	学校職員人事評価制度の活用	自己の適性や経験に応じた目標を定め、面談や授業参観等の活用により、学校職員としての資質・能力を高められたか。	3	B			
	服務規律及び法令遵守の徹底	研修や面談の実施により、公務員として使命感や責任感が向上し、言動が信頼に相応しいものであったか。	3	B			
評価者の意見等	初任段階教員が多い本校教職員が、研修等を通して力量形成を図っていくことを期待したい。					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
						B	B

